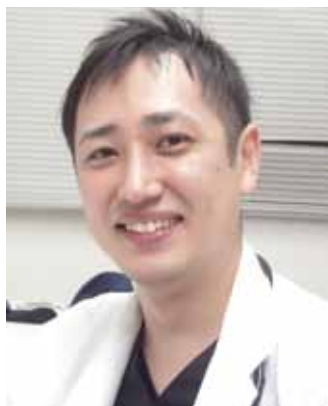


先輩指導医からのメッセージ

Message 1



長い医師人生の基礎固めを、当院でしませんか。 池上 直矢

初期研修の2年間というのは、これから長く続いていく医師人生の基礎となる非常に重要な期間です。大半の先生方は臨床に進むと思いますが、どの科に進んでも「内科的に素養」というのが必要になります。それは、症状を訴える患者からの如何にして有用な病歴を聴取するかの間診であったり、毎日のベットサイド診療で素早く異変を察知できるかの身体所見であったり、得られた所見やデータから患者に合った病態を矛盾なく構築できるかであったり…。後期研修以降でも磨いていくべきスキルですが、初期研修の2年のうちに間違った方向で学んでしまうと、後々修正するのが非常に難しいです。

当院の内科の特徴は、各診療科が揃っていること、さまざまな救急患者が搬送されてくることです。各指導医のもと、幅広い症例を経験することにより、十分に基礎固めをしてもらえると思います。また昨年度から発足した総合内科では、2ヶ月に1回程度院外講師を招聘し、カンファレンスを行い教育に非常に力を入れています。研修医が迷子にならないように、我々指導医は厳しく、時に優しく導いていきます。質の高い臨床能力を身に付けたいのであれば、是非当院で一緒に研鑽を積んでいきましょう！

Message 2



絶妙な自由設計臨床研修を 柴田 敏章

スーパーローテート制度になってから早10年経過しました。2年間の前期研修医期間はポリクリの延長からどの科に行くか決め、学生が医師になっていく大事な時期であることは言うまでもありません。

様々な研修指定病院がある中で、どこで研修するかは迷われることと思いますが、私の個人的意見としては絶妙な病院規模が望ましいと思います。すなわち総合病院としてほぼすべての診療科がありつつ、大学病院とは異なり総合医局で、診療科の垣根なく先輩医師に相談などできる病院という意味です。

入ったばかりの研修医に何科志望と聞いても、ほとんどが「まだ決まっていません。考え中です。」という返事が多く、2年間の間に方向性を決めようと思って医学部を卒業される方が多いようです。その中で当院の研修は個人の希望にて1年目から科を細かく選択できる自由設計が可能(耳鼻科選択も)です。まったく何科に行くか決めていない研修医が、とりあえずいろいろ回ってみるもよし。心が完全に決まっている研修医が、早くその科の一人前になるために長く研修してもよし。

大事な決断ですので色々悩んで下さい。考える素材として、医局での様々な科の医師と雑談しながら考えましょう。耳鼻科の手術も年400件ほどありますので、興味があればその楽しさをお伝えします、ローテートされた際にはできるだけ色々やっていただけます。

Message 3



患者さんのために。フットワークの良い臨床医を目指して 小別所 博

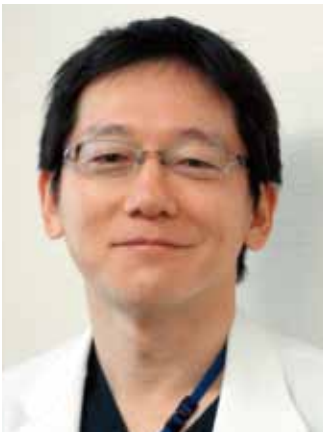
当院は神戸市北区の中核病院で救急から緩和医療まで幅広い臨床研修ができます。また、老健施設および訪問看護ステーションも併設しており、病院で病気だけを診るのではなく、患者さんを見るのが可能です。

当院の臨床研修の特徴としては、①いろいろな手技が指導医の指導のもと行えること、②希望に即して研修途中にローテート先を変更できること、③研修医室があり研修医の結束が高められることが挙げられます。

やる気があるあなたに、フットワークの軽い臨床医を目指して是非いっしょに患者さんのために働きましょう。

先輩指導医からのメッセージ

Message 1



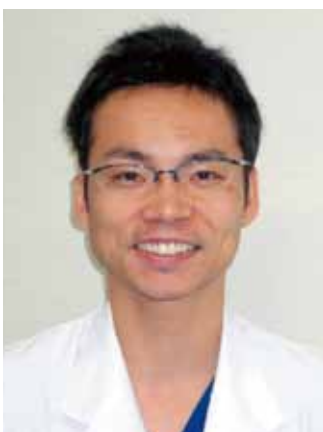
「学ぶ」研修医から「動ける」研修医へ 曾我 耕次

大病院での研修では、多くの指導医との診療の中でまれな症例を深く掘り下げ特殊で先進的な診療ができるメリットがあります。しかし、受診時にすでに診断がついて紹介されることも少なくなく、治療自体の専門性が高いため研修医は「学ぶ」ことが研修の中心となりがちです。当院は地域の中核病院としてさまざまな疾患に初診時から関わることができ、何がcommon diseaseなのかを臨床経験の中で習得することができます。現場主義、実践主義の観点から救急外来ではまず研修医が診察を行い、診断し治療を組み立てていきます。目の前で起こっていることにその場で考え対応していくことで臨床能力が飛躍的に向上していきます。

手術にも積極的に参加してもらっています。当科では一般外科手術のほとんどのに参加してもらうことで、術中に考え能動的に手術に参加できる研修医を育てています。最初は、遠慮がちですが毎日繰り返されるさまざまな手術に参加することで、多くの研修医が1か月を経過したあたりから自然と術野に手が出だしチームの一員となっています。

外科希望でなくても外科系で研修は可能ですし、外科希望であっても臨床経験の中から内科系への研修内容の途中変更も可能です。幅広い疾患の症例を積むことで本当に自分がしたい、または自分に向けた臨床医像が見えてきます。その際、多くの選択肢を研修医が持てるように当院ではサポートしています。

Message 2



総合内科を立ち上げました。 轟 純平

2月某日朝、外は一面銀世界。木にはつららが垂れ、枝は雪でたわんでいる。大雪だ。通勤中、足跡は歩くそばから雪でかき消されていく。ここから車で15分の神戸の中心地、三宮から登ってきたと思いき車が峠のあちこちで乗り捨てられている。どうやら三宮は小雨のようだ。

ここ神戸市北区は、冬場はスタッドレスタイヤが必須で、市街地との気温差が日常のトピックスである静かなベッドタウンです。人口は20万人程で、当院はこの地域の中核病院です。内科の特徴は、各診療科が揃い、かつカンファレンスを内科合同で行っているため、内科としてのまとまりと専門性を両立しているところです。この特徴を活かして、平成26年度より総合内科を立ち上げました。外部から講師を招いての教育回診を行うなど、臨床教育に力を入れていきます。また、研修プログラムも研修医の希望が反映されやすく、自由度が高いです。離島での地域医療研修も研修医の希望で可能となりました。内科のCommonな疾病や手技を幅広く経験し、質の高い臨床能力を身につけたい研修医のみなさん、是非一緒に研鑽を積んでいきましょう！